

## 平成 24 年度 第 2 回北杜市健康づくり推進協議会会議録

- 1 審議会等会議の名称：第 2 回北杜市健康づくり推進協議会
- 2 開催日時：平成 24 年 9 月 12 日（水） 午後 7 時 30 分から午後 9 時 21 分
- 3 開催場所：北杜市役所 西館会議室
- 4 公開・非公開の別：公開
- 5 傍聴人の人数：0 人
- 6 議 事
  - (1) 平成 24 年度事業進捗状況について
  - (2) 健康づくり標語審査
    - ①大人の部
    - ②中学生の部
    - ③小学生の部
  - (3) その他
- 7 出席者 委員 10 名  
吉田和徳 津金永二 古屋昭彦 小澤幸美 小池まき子  
内藤律子 田辺静香 秋山九一 三浦義道 小林由美子  
  
事務局 10 名  
保健福祉部長伊藤勝美 健康増進課長浅川正人  
企画予防担当 浅川辰江 広瀬佐智子 佐藤悦子 堀内真理子  
保健指導担当 三井ひろみ 平井あけみ 白倉百合香  
中北保健福祉事務所峡北支所 健康支援課地域づくり担当 沓川洋子
- 8 欠席者 5 名  
田畑雅宏 齋藤満 浅川健圃 田中勝海 永関英文
- 9 署名録委員  
小澤幸美 内藤律子

—午後7時30分開会—

#### 1. 開会あいさつ

#### 2. 会長あいさつ

本日はお疲れのところ、お集まりいただきありがとうございます。

日中はまだまだ残暑厳しいけれど、夜になるとぐっと涼しくなります。涼しい風が吹き始めるこの時間を有効活用し、本日の健康標語の審査と平成24年度事業の進捗状況について御審議をよろしく御願います。

#### 3. 市長あいさつ

残暑厳しい中、本日はご苦労様です。

この暑さも、広く環境面で考えると非常に心配な現実もあります。

健康づくり推進協議会の委員の皆様におかれましては、市政に対し日頃から適宜適切に御指導いただき感謝申し上げます。

安心安全なふるさとづくりをしていくことは、行政の大きな課題でもあり、市民密着型からいっても、その使命は重要だと思っています。

合併した北杜市の最大の役割は、財政の健全化ですが、おかげさまで国が評価するくらい順調に推移しております。

次に、超高齢化社会に対する負担をしっかりとることが大切だと思います。

市民の健康意識に対する高まりも、大変高くなっているところですが、私共もそれに答えて行きたいと思っています。

私ごとで恐縮ですが、昭和22年生まれで本日65歳高齢者の仲間入りをしました。

結びにNHKの鈴木健二アナウンサーが「健康は自分に送る最大のプレゼント」というております。本日はよろしく御願います。

#### 4. 議 事

##### (1) 平成24年度事業進捗状況

【事務局】母子保健について、平成24年8月までの進捗状況について、資料P1～P2を説明する

【事務局】成人保健について、平成24年8月までの進捗状況について、資料P3～P5及び平成24年度地域支援事業一覧を説明する。

【委員】健診の受診数が昨年度に比べると、だいぶ減っています。健診時期を6月に行っていたものを4月に変更したということですが、住民からの希望があったからですか。

【事務局】市の健診は、4月～7月まで大型バス10台くらいが駐車できる保健センター・体育館などの施設を使い実施しています。4月は、まだまだ寒い日があり、暖房が使えない体育館はストーブ等を燃やしても寒いため、暖房が使える高根保健センター・明野総合会館で実施していた町を4月に変更しました。今年度は移動した初年度ということで、例年と同じ6月だと思っていたため減ったのではないかと思います。

うっかりしてしまった方は、他町で受診したり、また、11月に追加の健診がありますので、そちらを受診していただくようお勧めをしていきます。

【委員】肺がんは216人も減っている。結核法で定められているものなのに良いのですか。

【事務局】法で定められているのは65歳以上です

【委員】人間ドック100人～150人増えたということですか。

【事務局】毎年増えています。20から21年度、21から22年度は100人、22から23年度150人くらい増えています。

【委員】武川町ですが、毎年時期が変わるのですか。

【事務局】会場の予定にもよりますが、毎年変わるものではありません。武川は、昨年武川保健センターが武川総合支所になりました。今までは、4月の健診で暖房が使えましたが、体育館だとストーブを燃やしても寒いということで変更したため、これからは時期は変わりません。

【委員】特定健診・その他の健診の対象人口はどれくらいですか。

【事務局】特定健診は40から74歳の国保加入者で把握できており、そのうちの5割弱です。がん検診、希望調査をとっているが、どこで健診受診するか返事を返してもらえない方が4割くらいいらっしゃいます。実際、対象者は把握できないため、人口から社会保険被保険者等除いた方の計算式に当てはめた目安となる数字から割り出しています。

【委員】がん健診は、市の健診受けられるが、特定健診は会社の健診受けてくださいだと、別々に受けるのがめんどろで、年々受診者は減っていくと思います。

【事務局】最近では健診制度も定着し、がん健診だけ受けるという方も増えてきました。

【委員】年々減っているとすると、高齢者が増えるに従って、受ける人はもっと減るということですか。

【事務局】高齢者の受診者は増えていて、40から50歳代、30歳代の若い方が特に少なくなっている傾向があります。

【委員】乳幼児健診のところで伺いたい。「参加者同士の交流の場に配慮する。」とあるが、具体的にはどんなことをしているのですか。

【事務局】健診会場に、いろいろな町の方がいらっしゃるの、スタッフが同じ町だと「同じ町ですよ」と声を掛けたり、一時期同じ町の色シールを肩に貼るなどしてコ

コミュニケーション図り易い工夫をしています。

【委員】総合健診時、愛育会で託児を実施しているが、若いお母さんたちの受診が少ないような気がする。愛育会でも呼び掛けを行っているが、市からも強力に呼び掛けてほしい。自分の健康を守ることは、家庭を守ることもつながります。また愛育会のない町の方も、あるところに行けば受診できますというPRをしていただければと思います。

【委員】5歳児相談についてお願いがあります。発達障害を持っているお子さん、小学校へ入学してから、集団の中で変だなと気が付くことが見受けられます。関係機関で見てもらった方がいいのではないかとと思われるお子さんが結構いますが、学校としては障害を持っていそうだからという指導がなかなかいいにくい。

5歳の時点で、医師と相談できる手厚い健診内容で、発達段階を確認できるようにしていただきたい。そして、小学校入学する時には、既に関係機関に検査してもらって入学してもらえば、学校側も指導に取り組みやすくありがたい。5歳児相談の充実と今後の見通しなど伺いたい。

【事務局】5歳児相談は、学校に入学してから、発達の問題で大変ということで、4年前から始めました。保健師、栄養士、臨床心理士が入って、保護者の方が参加しやすいように、住んでいるところの保育園を回って実施しています。参加率は98%です。医師もスタッフに入っていただければいいのですが、財政面で確保できず、臨床心理士を含め実施しています。臨床心理士が心配だと思われるお子さんは、お母さんにしっかり伝え、教育センター、あけぼの医療センターで一度検査して就学時にそなえてもらっている。お母さんの中には「うちの子は絶対に違う。」とって受け入れてもらうことができない方もいます。そのような場合、市として「もう少し様子を見てみますか。」と伝え、その後、保育園に様子を見に行ったり、教育委員会を通して、学校へ情報提供したりして連携を図っています。

【委員】就学時の1日入学でお母さんから「市の5歳児相談で、集団生活少し大変といわれました。」と相談を受けました。相談受けた1人は問題なかったのですが、あと1例は、あけぼのとか医療機関に受診しているということで、市単で担当が1人増やすことができ特別学級ができた事もあります。学校でも入学前に保育園に情報を取りに伺うが、保育園の先生方も、5歳児相談の様子を承知していて下さり、とてもありがたいと感じています。もう1点、日野春小学校ですが、学校保健委員会に保健師さんが出席していただき、情報提供していただきとてもありがたい。これからもよろしく願います。

【事務局】5歳児相談もあるが、5歳児の前に保育園巡回相談を実施したりして、発達面での強化をし、保育園、教育委員会と連携を図っています。

(2) 健康づくり標語審査

【事務局】 審査の手順について説明

出品作品数 [大人の部] 98点 [中学生の部] 404点 [小学生の部] 440点

委員に郵送で送った標語を事前に見ていただき、各自、良いと思われる作品各部門ごとに3点選び持ち寄った中から10作品を選びだす作業を行う。

(10作品の選出の班編制)

[大人の部] 古屋昭彦 秋山九一 三浦義道 杓川洋子 浅川健康増進課長

[中学生の部] 吉田和徳 内藤律子 小林由美子 田辺静香

[小学生の部] 津金永二 小池まき子 小澤幸美 伊藤市民部長

上位10作品は、下記のとおりです。

[大人の部] No.16 No.22 No.57 No.39 No.18 No.50 No.17 No.9 No.74 No.72

[中学生の部] No.168 No.11 No.219 No.359 No.119 No.108 No.45 No.6 No.92 No.122

[小学生の部] No.1 No.2 No.93 No.105 No.116 No.120 No.128 No.138 No.212 No.193  
No.237

※小学生については、佳作を5点選ぶので10点の絞込みを11点とした。

各部門10作品の中から、委員が5点、3点、1点の得点を持ち、それぞれ優秀と思われる作品に投票する。総得点上位作品から、それぞれ賞を決定する。

① [大人の部]

【委員】 No.72の作品、車に乗る人には良いが、一般市民向けと言う点ではどうでしょうか。家の周り見た時、車に乗らないおばあさんたちがたくさんいます。そういう方達にもアピールできる作品が良いのではないかと。

【委員】 私は逆に取りました。そのくらいの近い距離の用事だったら、家に籠りがちだが、十分歩ける距離なので歩きましょう。と取りました。両方に取りることができます。

【委員】 歩く、ウォーキングちがいはあるが、歩くばかりではなく、体操、運動も入って良いと思う。

得点が一番高いNo.72を会長賞とし、次に高い順にNo.18 No.22 No.39 3点を優秀賞と決定する。

② [中学生の部]

得点の一番高いNo.45を会長賞とし、次に高い順にNo.119 とNo.168 2点は優秀賞に決

定するが、No.11 とNo.112 は同点なので審議を行う。

【委員】No.11の「ごめんね」の解釈がむずかしい。言う方なのか、言われる方なのかで、どうとっていいのか難しい。

【委員】今の子は、ごめんねと言えない子が多い。その言葉で言う方も、言われた方も、飛び立てるといふより、心が軽くなるという意味だと思います。中学生から、この言葉が出た事はとてもうれしいことです。

多数決で No.11：7人 No.112：3人の挙手となり、No.11を優秀賞、No.112を佳作とする。得点順にNo.108を佳作と決定する。

### ③ [小学生の部]

得点の一番高いNo.93を会長賞とし、次に高い順にNo.1 No.2 No.116を優秀賞に決定する。

佳作作品について

【委員】「梨北米」は農協のお米の商品名ですか。この標語に使ってもいいのですか。

【事務局】銘柄をいっているわけではなく、梨北、山梨県の北部地域で取れる米ということで問題ないと思います。農協に、確認をいたします。

得点順にNo.105 No.128 No.138 No.212 No.237 5点を佳作と決定する。

【事務局】審査結果を朗読確認する。

[大人の部] 会長賞 No.72 優秀賞 No.18 No.22 No.39

[中学生の部] 会長賞 No.45 優秀賞 No.11 No.119 No.168 佳作 No.108 No.122

[小学生の部] 会長賞 No.93 優秀賞 No.1 No.2 No.116 佳作 No.105 No.128  
No.138 No.212 No.237

10月6日開催の健康福祉大会で会長賞・市長賞・優秀賞の表彰を行います。

また優秀賞3点の中から、後日市長賞を選ばせていただきます。

会長賞、市長賞の作品は、健康福祉大会など市で行う事業に使用し、健康意識の啓発に活用していきます。また、出品していただいた方々の参加賞に、標語を印字したグッズを参加賞として、配布したいと考えています。

【会長】審査大変な作業、ご苦労様でした。その他はありますか。

【事務局】10月6日高根体育館において、健康福祉大会が開催されますので、ぜひ、委員の皆さん御参加下さい。

5. 閉会あいさつ

【副会長】 遅くまで、貴重な意見ありがとうございました。今回の標語などが活かされて、元気な北杜になってくれるよう願っています。本日はお疲れ様でした。

—午後9時21分閉会—

署名録委員 氏 名

氏 名